



Report 3 新たな企画でまちなかに集客 庄原さとやまオープンガーデン2014春

しょうばら花会議が主催する「庄原さとやまオープンガーデン2014春」が、5月10日～6月8日の土・日曜日限定、10日間の日程で開催されています。



▲花に囲まれ会話が弾む

今春は4月1日からのプレオープンを含め34の庭が公開されました。

今回初めて企画された「まちなかフットパス」では、来訪者にできるだけ長い時間市内に滞在しもらえるよう、市内中心部の公開庭を巡るルートを示し、オープンガーデンの新しい楽しみ方を提供。ルート沿いの住民も協力し、玄関先にハンギングバスケットを飾るなどして来訪者を迎えました。

しょうばら花会議理事長の佐藤浩子さんは「思いのほか多くの方にお越しいただき、まちなかが活気づきました。お客さまにも喜んでいただけましたので、これを第一歩に、フットパスのエリアを少しずつ広げていければと思っています。今後もまちが元気になる企画を考えていきたいです」と話していました。

Report 4 ふるさとへの思いを語る 佐藤信介監督 映画&トークショー



▲佐藤監督（右）と神田アナウンサーによるトークショー

東城出身の映画監督、佐藤信介さんの映画上映とトークショーが4月19日、東城文化ホールで開催され、約300人が訪れました。

映画「図書館戦争」の上映が行われた後、佐藤監督とテレビ新広島の人気アナウンサー神田康秋さんがトークを展開しました。監督が映画の道を志したきっかけや「図書館戦争」の撮影秘話などを、監督自身が撮影した写真とともに紹介。来場者は熱心に耳を傾けていました。

「映画と東城をつなぐ何かができないだろうか」という会場からの声に対し、佐藤さんは「ふるさと東城でも映画を通じた活動をしたい」と語り、意欲を見せていました。

Report 5 登山シーズンの幕開け 福田頭山開き

福田頭山開き実行委員会主催による「第4回福田頭山開き」が4月27日、比和町三河内で開催されました。

福田頭は、ブナ純林や見応えのある滝が有名で、広島百名山のひとつとして、多くの登山客に愛されています。

当日は関係者を含め、県内外からの登山客約70人が参加。比和総合運動公園で登山シーズンの安全を祈願する神事式が行われた後、福田頭に詳しい地元の方が同行のもと山へ登りました。

会場では地域の特産品も販売され、多くの人でにぎわいました。

三の滝の風景や山頂からの眺めは絶景で、参加者は登山を満喫していました。



▲三の滝を望む登山者

市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎ 0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 1 魅力満載の春の口和を満喫 モーモー物産館「春の感謝祭」

毎年恒例のモーモー物産館「春の感謝祭」が4月27日、晴天のもと開催され、家族連れなど多くの人でにぎわいました。

物産館前には地元生産組合などが出店するブースが設けられ、地元新鮮野菜をはじめ、口和産そば粉を使った手打ちそば、国産和牛の炭火焼きなどが販売。この日用意された、ざるそば、うどん、焼きそば各120食が完売する盛況ぶりでした。



▲地元産品が並ぶ

ステージでは口和町内の7団体が出演し、太鼓やダンスで会場を盛り上げていました。

モーモー物産館の江木裕幸さんは「口和の活性化につながるよう、今後も大勢の方に来て楽しんでいただけるイベントにしていきたい」と話していました。



▲口和備神太鼓

Report 2 カープゆかりの3市町が合同PR 庄原市・日南市・由宇町が特産品販売

広島東洋カープの応援を通じて交流を深めている3市町（庄原市・宮崎県日南市・山口県岩国市由宇町）が4月25日、マツダスタジアムで合同特産品販売を行いました。

球場内「かば広場」に設けられたブースでは、日南市が宮崎牛の焼肉、由宇町がれんこんコロケなどご当地グルメを用意。庄原市からはアップルパイ、カレーパン、ドーナツ、こんにやく、スムージーなどの販売を通じて、満員の観客に「庄原市」をPRしました。



▲庄原産品をPR



▲球場でも大人気のキョロやまくん



Report 9 22の自治振興区が一本の動画でつながる 「恋するフォーチュンクッキー」で自治振興区をPR

庄原市自治振興区連合協議会が、人気女性グループアーティスト AKB48 の楽曲「恋するフォーチュンクッキー」を模した庄原市自治振興区オリジナルバージョンを、市内 22 の自治振興区を舞台に撮影しました。

これは、四季を通じて美しい自然、心温かい人たち、それらに育まれた農作物、そんな庄原の「自治振興区をPRしたい!」「自治振興区同士のつながりを深めたい!」と、自治振興区の若手が呼びかけて企画。22の自治振興区を約2カ月にわたって撮影して回り、一本の動画につなげています。

撮影には延べ450人を超える皆さんが参加。慣れないダンスに戸惑いながらも、地域の雄大な自然をバックに撮影したり、自慢の特産品をPRするために

楽しいコスチュームに変身したり、地域の元気な子どもたちに参加してもらったりと、自治振興区それぞれの魅力がたっぷり詰まっているそうです。

撮影された映像は「庄原市自治振興区連合協議会」のホームページ (<http://www.shobara-jichi-rengo.org/>) で公開されています。



▲撮影中の本村自治振興区の皆さん

Report 10 山野草を知り里山への関心を 西城自治振興区が春の山野草を味わう講座

西城自治振興区が主催する「春の山野草を味わう講座」が5月8日、西城自治振興センターで行われ、21人が参加しました。

この講座は生涯学習事業のひとつで、食品加工に向けた料理教室シリーズの1回目として開催。今回は、講師の富永平八郎さん(島根県邑智郡邑南町)から、山野草の知識や調理法などを学びました。

参加者は、西城中学校近辺で実際に山野草を採取し、調理室へ移動。身近で採れるものから珍しいものまで実物を確認しながら説明を受け、聞き慣れない名前や見慣れない野草を見て関心を深めました。その後、山野草を美味しく食べる5つのレシピを教わり、みんなで楽しく調理し、春の山野草をしっかりと味わっていました。

富永さんは山野草採取のポイントに“疑わしいものは採らない”“生活環境を壊さない”“採取して良い場所かどうか”“匂を逃さない”などを挙げ、「最近の里山は草や木が無造作に生えており、管理がされていない証拠。このような活動を通して里山の利用・管理に関心を向けてほしい」と話していました。



▲富永さん(左から2人目)から山菜採りの説明を聞く参加者



▲ウワバミソウの切り和え



▲ウドと鶏のゴマ酢和え

Report 6 高野の豊かな自然を体験しよう たかの体験「高野グリーンウォーク春」

5月に咲く、りんごの白い可憐な花の魅力を知ってもらいたいと5月1日と7日、下高自治振興区が「高野グリーンウォーク春」を開催しました。

当日は市内外から10人の参加者が集まり、りんご園周辺やアップルロードを散策し花見を楽しみました。その後、道の駅たかのカフェレストラン「そらら」に立ち寄り、アップルパイとアップルティーで高野りんごを味わいました。

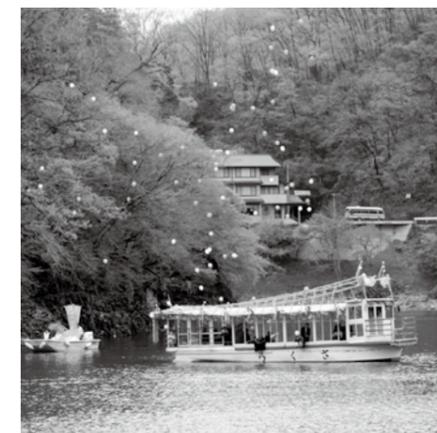
参加者からは「りんごの花をじっくり見ることができて良かった」など、満足そうな声が聞かれました。

下高自治振興区の地域マネージャー渡邊純子さんは「高野町にはほかにも四季折々のおすすめスポットがあることを伝えたい。今後もグリーンウォークを企画していきたい」と話していました。



▲りんごの花を観賞する参加者

Report 7 雄大な自然景観を満喫 帝釈峡湖水開き



▲風船を舞い上げ進む遊覧船

新緑に彩られた4月29日、「第46回帝釈峡湖水開き」が神龍湖で行われました。

帝釈峡の安全と繁栄を祈願する神事が行われた後、「トレイルセンターしんりゅう湖」前広場では地元鬼神太鼓の太鼓演奏や子ども神楽の演舞などがあり、会場テントでは地元食材を使った神石高原マルシェで軽食を楽しむ観光客でにぎわいました。

また湖面では、水陸両用車や遊覧船、小型船のデモ運転が行われ、観光客は石灰岩が織り成す帝釈峡の雄大な自然景観を丸一日満喫していました。



▲イベントの様子

Report 8 伝統神楽継承に取り組む 総領子ども神楽

総領自治振興センターで月2回、総領子ども神楽の練習が行われています。

5月7日は、保育所から小学6年までの総領の子ども8人が神楽の練習を見学・体験しました。

初めて見る子どもたちは、町内の神楽同好会メンバーから神楽独特の言い回しを教してもらい、戸惑いながらも大きな声で台本を読みました。また、経験のある子どもは笛や太鼓に合わせて踊りを披露しました。

神楽同好会の勢村和彦さんは「総領に伝わる神楽を継承するには、神楽に親しむ子どもが増えなければいけない。この体験がそのきっかけになれば」と期待を寄せていました。



▲踊りを披露する総領子ども神楽のメンバー